

# 先輩からのメッセージ

広島県で留学生活を送り、社会で活躍している先輩からのメッセージをお届けします。  
今回は、広島大学卒業後、自動車会社にお勤めの陳さんにお話しをお聴きしました。(令和7年1月にインタビュー)

## — 担当されている業務の内容を教えてください。

※インタビュー当時

車両の生産・販売に関わる一連のプロセスを受け持っています。担当しているエリアは北米、国はカリブ海の島国のペルトリコです。

年間何台の車を販売するのかという目標を設定し、毎月の販売台数を明確にしていきます。海上輸送の時間も考えて発注をかけないといけないので、適正な在庫管理はとても重要です。

現地スタッフと話しをして、常に状況を把握して生産台数の調整を行うという仕事をしています。

ペルトリコは、文化的にはスペインの影響が色濃くあるところです。文化的に異なる背景を持つ人たちと、同じ目標に向かってチャレンジしていくというのは、とてもやりがいがありますよ。



## — 仕事で大変なことはありますか？

たくさんあります(笑)。

車というのは定期的にモデルイヤーチェンジするので、市場には旧年式と新年式の車があります。弊社が現在生産しているのは旧年式ですが、ライバル社はすでに新型車を供給しています。

多くの買い手は新年式の車を欲しがるので、何か手を打たなければ旧年式車は売れ残ってしまいますよね。私や私の上司は、早い段階でそのリスクがわかっていたので、早く対策を考えるべきだと現地のスタッフに言い続けているのですが、彼らはとても楽観的なんです。「最後はオレ達が頑張るから大丈夫さ」みたいな感じです(笑)。

仕事の進め方や報告の仕方など、細かいところに文化的な背景の違いが出てくるように感じますね。そんな楽観的なノリは嫌いではないのですが、仕事となると大変ですね。



## — 就職活動は、どのように進められたのですか？

日本に留学した当初は、中国に戻って教師になろうと思っていましたが、留学後にすぐコロナ禍で中国の経済状況が厳しくなり、文系で修士を取っても中国では希望する仕事に就けない状況になってしまいました。

そこで、まずは日本で仕事を探してみることにしました。日本でいい就職先が見つければそれでよし、もし見つからなくても就職活動した経験は自分の中に財産として残るという考え方をしました。

一方で、大学院に進学するという選択肢もありました

ので、進学が就職かで悩んでいたときに広島県留学生生活躍支援センターで実施している個別相談のことを知り、いろいろなことを相談していくなかで、就職活動に専念することにしました。

具体的な就職活動としては、修士1年目の夏頃にインターンシップに参加しました。日本の就活のスタートはとにかく早いです。とりかかるのが早ければ早いほど損はしないです。

まずは、どんな業界があるのか、どんな仕事があるのかといったイメージを持つことが必要だと考え、インターンシップや企業説明会に参加しました。会社の雰囲気がよくわかるので、参加してよかったと思います。



タイで一人旅の時撮った写真



マレーシアに旅行した時撮った写真



チン セツコ  
陳 接光 さん(中国浙江省出身)  
2023年 広島大学 人間社会科学研究科修了  
2023年 三菱自動車工業株式会社入社  
現在、三菱自動車工業株式会社 米州本部 北米第一部 所属

## — 先輩の留学生の皆さんにメッセージをお願いします。

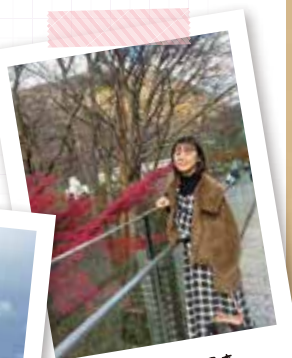
まずは、留学生活では、目的をしっかりと持つこと。できるだけ多くのイベントなどに参加して、文化背景の異なる人と積極的に交流してみることが大切です。

それから、アルバイトの経験も大事ですよ。働いてお金を稼ぐことの大変さがよくわかります(笑)

次に、就職活動についてです。とにかく、自分でいろいろ動いてみることです。企業説明会やインターンシップに参加しながら、将来どんなことをしたいのか、常に考え続けることが大切です。

私も、最初から自動車会社を目指していたわけではなく、自分なりに懸命に活動していく中で、この会社に出会うことができました。早めに活動して絶対に損はないですし、その経験はこれからの人生で皆さんの財産になるはずです。

皆さん、がんばってください!



箱根で撮った写真